

自己点検・自己評価の公表について

学校法人 名古屋大原学園

1. 当学園における自己点検・自己評価の取り組みについて

専修学校における自己点検・自己評価は、平成19年に学校教育法及び同施行規則の改正により義務付けられることとなりましたが、本学園におきましては従前より独自の 방법으로評価点検とその改善に努めてまいりました。

令和5年度においても、より同法に則った項目で点検・評価を実施しましたので、ここにその結果を公表いたします。本学園における教育の現状を正しくご理解いただき、より一層のご支援を頂ければ、幸甚に存じます。

なお、自己点検・自己評価の詳細につきましては、本学園各地区各学校HP上で学校関係者評価報告書とともに自己点検・自己評価の総括表を公表するとともに、各学校内で詳細報告書を公開しています。閲覧ご希望の方は、日時をご予約のうえご来校ください。

2. 令和5年度自己点検・自己評価の結果について

本学園の教育理念を念頭に置き、分野ごとに行う専門教育を通じ、教育基本法に謳う“人格の完成”を目指し、“社会の形成者”として必要な資質を備えた身心ともに健全な学生を育成するため、すべての業務に誠意と情熱をもって対応します。

(1) 教育理念・目標

本学園では、学園の基本運営方針・教育目標・学園スローガンを定め、事業計画書等で明確に公表するとともに、職員総会ははじめ定期的に確認・点検できる場を設けています。

専門課程の目標：早期大人化教育、資格試験・公務員試験など専門教育の充実

(2) 教育活動

本学園では、変化の激しい社会ニーズに応えるため、毎年個別委員会を設置し、各事業年度の重点項目を定め、時代に即応した実践的な教育を展開できること、将来へ向けての準備を怠らないことに重点を置き、各テーマに取り組んでいます。

各校各学科とも、それぞれの分野からの人材ニーズを適切に把握し、目標人材像を定め、それに応じたカリキュラム等教育計画全体を定期的に見直しています。

教育現場においては、資格教育に留まらず、「自己管理能力」「協調行動力」など職業現場で必要とされる能力の開発など、産学連携の職業教育にも注力しています。

(3) 学生支援と教育成果

本学園は、全国展開する大原グループの一員として、授業カリキュラムから就職指導に至るまで、総合グループ校の特徴を生かすことにより、良質の教材の提供・高度な職員のスキル・全国を網羅する求人網等、学生の満足度の高い学校を実現しています。

各校ともクラス担任制で運用することにより、学生本人だけでなく保護者等とも連携をしっかりと行い、よりきめ細やかな学生管理を行うことにより、国家試験の合格率や就職率など高い教育実績とともに退学者の減少に努めています。

また、各校とも学生が主導となって地域活動やボランティア活動に参加できるよう支援を行っています。

(4) 法令等の遵守

本学園は、会計・法律の資格指導校である特色を生かし、新制度や規定の制定に積極的に取り組んでいます。

個人情報に関しては、個人情報保護管理者を置き、法令の遵守に努めるだけでなく、詳細な学内規定『個人情報取扱規則』を策定し、全ての個人情報の取り扱いには細心の注意を払っています。

本学園は、自己点検・自己評価の実施と公表を、今後も積極的に行っていきます。

学校法人名古屋大原学園

【名古屋】

大原簿記情報医療専門学校

大原法律公務員専門学校

大原トラベル・ホテル・ブライダル専門学校

【岐阜】

大原簿記情報医療専門学校 岐阜校

大原法律公務員専門学校 岐阜校

【津】

大原簿記情報医療専門学校 津校

大原法律公務員専門学校 津校

【浜松】

大原簿記情報医療専門学校 浜松校

大原法律公務員専門学校 浜松校

大原トラベル・ホテル・ブライダル専門学校 浜松校

【静岡】

大原簿記情報医療専門学校 静岡校

大原法律公務員専門学校 静岡校

大原トラベル・ホテル・ブライダル専門学校 静岡校

【沼津】

大原公務員医療観光専門学校 沼津校

大原介護福祉専門学校 沼津校

作成者: 鶴見達洋

作成日: 令和6年4月30日

サンプル数(評価数値の分布合計): 7

(1). 教育理念・目標

評価項目	評価数値の分布			
	適切…4、ほぼ適切…3、やや不適切…2、不適切…1			
①学校の理念・目的・育成人材像は定められているか (専門分野の特性が明確になっているか)	適切	ほぼ適切	やや不適切	不適切
	6	1	0	0
②学校における職業教育の特色は明確になっているか	適切	ほぼ適切	やや不適切	不適切
	6	1	0	0
③社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	適切	ほぼ適切	やや不適切	不適切
	6	1	0	0
④学校の理念・目的・育成人材・特色・将来構想などが学生・保護者等に周知されているか	適切	ほぼ適切	やや不適切	不適切
	4	3	0	0
⑤各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	適切	ほぼ適切	やや不適切	不適切
	6	1	0	0

①課題

教育理念・目標については、「適切」、「ほぼ適切」という評価結果である。

②今後の改善方策

②の公務員を目指す学生に対する職業教育について、名古屋国税局、自衛隊、岐阜県警察、名古屋税関をはじめ多くの官公庁の業務説明会を学内で実施している。令和6年度も継続するとともに、学生の志望の多い市役所の業務説明会が開催できるよう働きかけていく。

④の保護者等への周知について、令和5年度、保護者等面談会(来校、電話)を行い、全員の保護者等の参加があり修学情報が共有された。また、定期的に修学情報を郵送しているが、それとともに保護者等用LINEにより、修学情報を発信したり、お問い合わせや連絡に活用している。今後も、保護者等懇談会の開催の継続とともに、保護者等用LINEを活用し、学校と保護者等との連携を深めていく。

③特記事項

当校は、教育基本法の精神に則り、学校教育法に従い、官公庁において必要とされる専門能力を身につけた人材の育成を目的として、平成24年4月に開校し、12年目を迎えた。開校以来、公務員試験や資格試験の合格に必要な専門教育を通して、社会人としての自覚をもち、精神的にも経済的にも自立した人材の育成を進めている。

(2). 学校運営

評価項目	評価数値の分布			
	適切…4、ほぼ適切…3、やや不適切…2、不適切…1			
①目的等に沿った運営方針が策定されているか	適切	ほぼ適切	やや不適切	不適切
	6	1	0	0
②運営方針に沿った事業計画が策定されているか	適切	ほぼ適切	やや不適切	不適切
	7	0	0	0
③運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	適切	ほぼ適切	やや不適切	不適切
	7	0	0	0
④人事、給与に関する規程等は整備されているか	適切	ほぼ適切	やや不適切	不適切
	7	0	0	0
⑤教務、財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	適切	ほぼ適切	やや不適切	不適切
	7	0	0	0
⑥業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	適切	ほぼ適切	やや不適切	不適切
	7	0	0	0
⑦教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	適切	ほぼ適切	やや不適切	不適切
	7	0	0	0
⑧情報システム化等による業務の効率化が図られているか	適切	ほぼ適切	やや不適切	不適切
	4	3	0	0

①課題

学校運営については、「適切」、「ほぼ適切」という評価結果である。

②今後の改善方策

④について、令和2年度より人員が減少していたが、優秀な人員を確保できた。今後、教職員全体の能力アップに向けて教職員研修、資格取得、新規科目担当を継続的に実施するとともに、教職員の業務の適正配分も進めていく。また、役職年齢に達して退任した教職員にさらに研鑽し業務に取り組んでもらえるように制度の活用も推進していく。

⑧の情報システム化等による業務の効率化について、Office365を活用することにより教職員間及び対学生に関する情報の共有化が図られている。ただ、似たような事務作業を複数行わなければならないケースや、業務時間外の学生対応が増えており改善していく。

③特記事項

学校活動等に関する情報公開は、学校の案内書、学校のホームページを通じて発信されている。また、学校の自己点検評価、学校関係者評価、財務情報等についても、学校のホームページで継続的に公開している。

また、令和6年度より、私立学校法に基づき理事長・副理事長などによる内部統制制度として岐阜校視察が実施される。目標の進捗度、校内美化、教職員の勤務状況、授業レベル、カリキュラム遵守、経理など確認いただき、指摘された内容については相談のうえ改善を図っていく。

(3). 教育活動

評価項目	評価数値の分布 適切…4、ほぼ適切…3、やや不適切…2、不適切…1			
	適切	ほぼ適切	やや不適切	不適切
①教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	6	1	0	0
②教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	7	0	0	0
③学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	5	2	0	0
④キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	6	1	0	0
⑤関連分野の企業・関連施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	6	1	0	0
⑥関連分野における実践的な職業教育（産学連携によるインターンシップ、実技・実習等）が体系的に位置づけられているか	3	4	0	0
⑦授業評価の実施・評価体制はあるか	7	0	0	0
⑧職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	7	0	0	0
⑨成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	7	0	0	0
⑩資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	7	0	0	0
⑪人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	6	1	0	0
⑫関連分野における業界等との連携において優れた教員（本務・兼務含む）を確保するなどマネジメントが行われているか	6	1	0	0
⑬関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研究や教員の指導力育成など資質向上のための取り組みが行われているか	7	0	0	0
⑭職員の能力開発のための研修等が行われているか	7	0	0	0

①課題

教育活動については、「適切」「ほぼ適切」という評価結果である。

②今後の改善方策

③のカリキュラムについて、1年に2回実施する教育課程編成委員会で業界の意見を収集し編成と改良を重ね、学則の教育課程表に基づいたカリキュラムとシラバスが完成した。その学則、学則に基づくカリキュラム、そしてホームページに掲載されるシラバスによる運営を心掛けていく。特に、話す力・聴く力・相手を思いやる力を育てるためにコミュニケーションの授業、地域に奉仕する意識を育てるための地域貢献の授業をカリキュラムに多く設定しているの
で、令和6年度も令和5年度の反省を活かしながら授業・実習を進めていく。

⑥の実践的な職業教育について、令和6年度も社会保険労務士や不動産会社経営者による法律講義、裁判所や自衛隊基地見学、FC岐阜や岐阜市環境保全の地域貢献活動を通じて関連分野の職業教育を深めていく。また、学生の志望する公務員に就職した卒業生の講演も定期的で開催していく。

⑭の職員研修について、教職員の情報処理技術を向上させるため、教職員のリスキリングの実践として、Web編集技術、AI活用技術などの向上のための研修も継続していく。

③特記事項

学園は、教職員の人間力を高めるため、および時代の変化に対応するため研修を実施している。また、資格取得をはじめとした自己啓発を奨励している。

(4). 学修成果

評価項目	評価数値の分布 適切…4、ほぼ適切…3、やや不適切…2、不適切…1			
	適切	ほぼ適切	やや不適切	不適切
①就職率の向上が図られているか	7	0	0	0
②資格取得率の向上が図られているか	6	1	0	0
③退学率の低減が図られているか	2	5	0	0
④卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	3	4	0	0
⑤卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用しているか	5	2	0	0

①課題

学修成果については、「適切」「ほぼ適切」という評価結果である。

②今後の改善方策

①「就職率の向上」について、令和5年度、多くの学生が志望する県庁職員・税務職員・警察官・消防官などの公務員、そして、就職担当者の個別指導により民間企業就職を達成したが、一部の学生が進路未決定となった。令和6年度は、令和5年度の高い公務員合格率を維持するとともに、学生全員が進路決定するようにクラス担任及び就職担当者による個別指導を徹底していく。

③について、令和6年度、コロナが直撃した世代の入学生が多く、入学直後からグループワークやコミュニケーションゲーム、宿泊研修を行い、クラスの輪ができるような運営を心掛けていく。また、球技大会、クラスレクリエーションなど、教職員及び学生間の交流の活性化、ひいては、退学者の減少、学生の学校満足度の向上を図っていく。また、宿泊研修について、令和6年度の反省を活かして、令和7年度にも継続できるようにしていく。

③特記事項

学園独自のトライアングル教育を通して、職業意識の向上に寄与する自己管理能力・協調行動力・IT活用力・海外行動力を養成する教育に取り組んでいる。その結果、公務員試験の合格率は高水準で推移しており、開校以来多くの人材を官公庁に送り出している。

(5). 学生支援

評価項目	評価数値の分布 適切…4、ほぼ適切…3、やや不適切…2、不適切…1			
	適切	ほぼ適切	やや不適切	不適切
①進路・就職に関する支援体制は整備されているか	7	0	0	0
②学生相談に関する体制は整備されているか	4	3	0	0
③学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	7	0	0	0
④学生の健康管理を担う組織体制はあるか	3	4	0	0
⑤課外活動に対する支援体制は整備されているか	6	1	0	0
⑥学生の生活環境への支援は行われているか	4	3	0	0
⑦保護者と適切に連携しているか	6	1	0	0
⑧卒業生への支援体制はあるか	2	5	0	0
⑨社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	4	3	0	0
⑩高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取り組みが行われているか	6	1	0	0

①課題

学生支援については、概ね「適切」「ほぼ適切」という評価結果である。

②今後の改善方策

②「学生相談に関する体制」について、クラス担任・学科責任者はじめ教職員が学生の進路・人生・学習の相談に対応している。なお、欠席等が多い場合は保護者等とも連携していく。また、スクールカウンセラー制度についても学生に紹介し利用を進めていく。

③「学生に対する経済的支援」について、令和2年度より、入学生や在学学生を対象にした給付型奨学金の支給や入学金・授業料の減免措置が行われる高等教育の就学支援制度の認定校になった。令和6年度、制度の拡充もあり、対象となる学生の就学支援に力を入れていく。

⑤「課外活動に対する支援体制」について、現状の教職員勤務状況ではクラブ活動の運営は難しいが、定期的に球技大会・クラスレクリエーションや地域貢献のボランティア活動をする機会を作っていく。

⑦「保護者との連携」について、令和6年度も、保護者等懇談会の開催の継続とともに、保護者等用LINEを活用し、学校と保護者等との連携を深めていく。

⑧「卒業生への支援体制」について、卒業後、公務員試験を再受験する者に対し、公務員試験の情報提供、質問対応、面接指導をしていく。

③特記事項

令和4年4月より、成年年齢が18歳に引下げられた。成年年齢引下げに伴う要点を学生に周知するとともに、今後とも退学や休学、授業料の納付などについて保護者等と適切に連携していく。

(6). 教育環境

評価項目	評価数値の分布 適切…4、ほぼ適切…3、やや不適切…2、不適切…1			
	適切	ほぼ適切	やや不適切	不適切
①施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるように整備されているか	6	1	0	0
②学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	4	3	0	0
③防災に対する体制は整備されているか	6	1	0	0

①課題

教育環境については、「適切」「ほぼ適切」という評価結果である。

②今後の改善方法

②「学内外の十分な教育体制の整備」について、公務員を目指す学生の市役所のインターンシップができるよう、市役所に働きかけていく。

③「防災に対する体制の整備」について、毎年4月に地震時対応マニュアルを確認し、防災の日には避難訓練を実施している。今後、教職員や学生の防災意識をさらに高め、防災活動の大切さを周知していく。また、令和6年度は、昨今の地震などの自然災害の状況を考え、学内にカンパン、5年保存水、トイレ処理袋など防災用品を備えていく。

③特記事項

学校の施設・設備について、校舎内全フロアWi-Fi完備でiPadを駆使できる教育環境を整備している。また、令和5年3月にパソコンルームが5教室に増設され、トレーニング器具と卓球台を備えたトレーニングスタジオ、そして広い空間の1階ロビーが設置された。学生の利用も多く、充実した学生生活を送ることのできるスペースになっている。なお、教職員もトレーニングスタジオを利用しており、心身の健康に貢献している。

(7). 学生の受入募集

評価項目	評価数値の分布 適切…4、ほぼ適切…3、やや不適切…2、不適切…1			
	適切	ほぼ適切	やや不適切	不適切
①学生募集活動は、適正に行われているか	4	3	0	0
②学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	6	1	0	0
③学納金は妥当なものとなっているか	6	1	0	0

①課題

学生の受入募集については、「適切」「ほぼ適切」という評価である。

②今後の改善方策

学生募集については、学校の基本情報・学科ごとのカリキュラム・公務員就職実績・学内イベント・学生生活の情報提供にプラスして、資格取得等社会人講座を無料で受講できるプラスワン制度の情報提供をホームページ・SNS・学校説明会・体験入学などを通じて行い、入学前に入学を志望する者に学校を正しく理解してもらえるようにしている。また、学校説明会や体験入学において、参加者に対し、在学生と交流できる機会を設け、「明るく」「楽しい」時間を共有できるようにしている。令和6年度は、高校訪問・高校内ガイダンスとともに、大卒者・大学中退者・離職者など既卒者向けの情報提供に力を入れていく。

③特記事項

現在、学校では、2年制公務員科の「警察コース」「消防コース」「県庁・市役所コース」「国家一般・税務職コース」「資格取得&公務員コース(簿記専攻)」「資格取得&公務員コース(医療事務専攻)」「資格取得&公務員コース(IT専攻)」「宅建士&公務員コース」、1年制公務員科「事務系公務員コース」「警察・消防コース」を開設し、高校生や既卒者等の志望に応えている。

(8). 財務

評価項目	評価数値の分布			
	適切…4、ほぼ適切…3、やや不適切…2、不適切…1			
①中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	適切	ほぼ適切	やや不適切	不適切
	5	2	0	0
②予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	適切	ほぼ適切	やや不適切	不適切
	6	1	0	0
③財務について会計監査が適切に行われているか	適切	ほぼ適切	やや不適切	不適切
	6	1	0	0
④財務情報公開の体制整備はできているか	適切	ほぼ適切	やや不適切	不適切
	6	1	0	0

①課題

財務については、「適切」「ほぼ適切」という評価結果である。

②今後の改善方策

令和4年度に電子帳簿保存制度、令和5年度に消費税インボイス制度が導入されたが、順調に導入が図られている。また、物価高の状況にあり経費削減を考え、電気の利用や物品の購入は慎重に行なっていく。

③特記事項

財務については、入学後に寄付金や学債を依頼することは一切なく、学園は借入金のない健全な財務状態となっている。

理事会・評議員会において、予算・収支計画の立案及び承認が適切に行われ、財務に関する会計監査及び税務監査は、公認会計士事務所及び税理士事務所に依頼し適切に行われている。

財務情報については「財産目録等の閲覧について」の規程を整備し、利害関係人が財産目録、貸借対照表、収支計算書、事業報告書及び監査報告書の閲覧が出来るように、情報公開の場を設けている。

(9). 法令等の遵守

評価項目	評価数値の分布 適切…4、ほぼ適切…3、やや不適切…2、不適切…1			
	適切	ほぼ適切	やや不適切	不適切
①法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	7	0	0	0
②個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	6	1	0	0
③自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	7	0	0	0
④自己評価結果を公開しているか	7	0	0	0

①課題

法令等の遵守については、「適切」、「ほぼ適切」という評価結果である。

②今後の改善方策

法令、専修学校設置基準により、適正な運営がなされており、今後も継続していく。

③特記事項

自己点検・自己評価の結果について、学園ホームページに公開、そして、学校関係者評価委員会に報告し関係者からの評価を受け改善している。

(10). 社会貢献・地域貢献

評価項目	評価数値の分布			
	適切…4、ほぼ適切…3、やや不適切…2、不適切…1			
①学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	適切	ほぼ適切	やや不適切	不適切
	7	0	0	0
②学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	適切	ほぼ適切	やや不適切	不適切
	6	1	0	0
③地域に対する公開講座・教育訓練（公共職業訓練等を含む）の受託等を積極的に実施しているか	適切	ほぼ適切	やや不適切	不適切
	5	2	0	0

①課題

社会貢献・地域貢献については、「適切」、「ほぼ適切」という評価結果である。

②今後の改善方策

②「ボランティア活動の支援」について、令和6年度も、学校紹介のFC岐阜や岐阜市環境保全のボランティア活動に積極的に参加を促しながら、「前向きに地域のために貢献したいという意識」を学生全員が共有できるようにしていくとともに、学生が自主的に新たな活動を行えるように支援していく。

③について、令和6年度、附帯教育の講座は映像通学を実施することで、地域の社会人や大学生に貢献していく。

③特記事項

学校施設は、土曜日や日曜日において「各種資格試験会場」、「大学入学試験会場」等として貸し出しを行っている。